

— 広 告 —

KIT
キャンパス
レポート



増田 翼 (ますだ つばさ)
金沢工業大学大学院工学研究科
電気電子工学専攻
博士前期課程二年
福岡県 九州国際大学付属高等学校出身

シニアSAで鍛えられた 指導力と問題解決能力。

文武両道の進学校とはいえ、強豪サッカー部に所属し毎週のように遠征を重ねていた増田さんには、勉強の時間をとることは難しかった。だから先々のことを考えて二年の時から進路を模索し、勉強に集中でき自分が成長できる環境、また就職も視野に入れて金沢工大の電気電子工学科を選んだ。

「一年の時はほぼ毎日、数理工教育研究センターに通いました。そこで工藤知章先生に出会い、みっちり数学を教えてもらって。数学は得意でしたが、通い始めると課題はもちろん、応用分野も突き詰めたいという気持ちになって、ぼくに理系の頭の基盤を構築してくれた先生です。」

また三年次は、シニアSAとして授業をサポートした。学生同士

で教えあう金沢工大の制度の一つで、授業の日の夕方、九十分、理解度の異なる学生一人一人に対して個別に対応する。増田さんの場合は電気回路を担当。人数が多かったため、最初に質問を受け、共通する問題をかみ砕いて教えるように努めた。そこで指導能力と問題解決能力が鍛えられたという。

「ぼくは一週間のスケジュールを手書きで作り、チェックマークをつけながら管理しましたね。ムダを省くことができますし、研究でも役立つと思います。また三年の時にもどういふ分野に就職するか調べて三菱電機を目標とし、さらに好きな数学を生かせるモータ制御のスペシャリストである小山先生の研究室に入りました。」

小山正人教授の専門はパワーエレクトロニクス、制御技術(とくにモータ制御)で、三菱電機出身。人気の研究室で成績優秀な学生が集まってくる。増田さんの研究テ

ーマは「磁束変調ハイブリッド界磁モータのモデル化と位置センサレス制御方式に関する研究」。EV用のモータドライブシステムの小型化・軽量化・低コスト化・劣化予防につながる研究だというが、モデル化の手法は増田さんが独自に考案したものだ。

「小山先生は不安要素をすべて払拭するという進め方で、段階ごとに完璧性が求められます。週一回の報告会議では、後悔したくないので自分の考えをちゃんと伝えて、二時間ほど熱い議論をすることも。いやでも自分の能力がわかり、その分、成長できたかなと。」

春から三菱電機の姫路製作所で勤務を始め、念願の自動車用インバータのソフトウェア設計の部署へ所属予定。新たな目標を立てて、全力で走り出すにちがいない。

金沢工業大学
石川県野々市市扇が丘七二一
電話番号(076)2481100